



国語を様々な側面からみて、日本語の面白さや深さを知ってもらえればと思います。

## 問題【国語】

次の文の( )内の言葉のうち、正しい方を選びなさい。

- (1) (限りある／限りなく) 広がる青空
- (2) (いたいけある／いたいけない) 子供
- (3) 料理に調味料を(満遍に／満遍なく)かける。

## 豆知識 雑学コラム

### 否定ばかりで「ない」

今回は「なく」「や」「ない」がつく言葉を見ていきましよう。「なく」「や」「ない」

と聞くと真っ先に思うことは、くっつくことと否定して反対の意味の言葉を作るということではないでしょうか。例えば、「限りなく」「は」「限りある」の反対の意味の言葉ですね。しかし、そうならない

いないですよ。実は「ない」には、もう一つ、「いつもより大きく、強く」という「程度がはなはだしい」という意味の形容詞を作ります。この「いたいけない」も「心の痛さがいつも以上に強い」ということで「ない」がついているわけです。

次に、三つ目の「満遍に」と「満遍なく」ですが、この場合、どちらでもいいですよ。「満遍」は「全体に広いきわたる」という意味です。「満遍に」は「満遍」に副詞を作る「に」がくっついた形です。一方は「満遍なく」は「満遍」に「程度がはなはだしい」という意味の

## 【解答】

(1) (B) (2) (A) (3) (B)

(1) (B) (2) (A) (3) (B)

(1) (B) (2) (A) (3) (B)